

高等学校 地理歴史（日本史）

1 次の（１）～（１０）の問いに答えよ。

- （１） 人工の堤防により流路が固定されたため、土砂の堆積により、河床面が周囲の平野面より高くなった河川を何というか、記せ。
- （２） 太平洋東部で数年に一度海面水温が高くなり、数か月間継続する現象で、その影響により、世界中で異常気象が起りやすくなるとされている現象を何というか、記せ。
- （３） 大量廃棄される家電製品の中にある、有用なレアメタルなどの資源を鉱山に見立てて何というか、記せ。
- （４） 1813年、プロイセン・ロシア・オーストリア連合軍がナポレオン軍を破り、解放戦争の勝利を決定づけた戦いを何というか、記せ。
- （５） アメリカ合衆国で1862年、公有地に5年間定住・耕作した者には、一定の土地を無償で与えることを定めた法を何というか、記せ。
- （６） 1971年、国際基軸通貨であったドルと金の交換の停止を発表したアメリカ合衆国大統領は誰か、記せ。
- （７） 894年、遣唐大使に任命されたが、唐の衰退と航路の危険とを理由に派遣の停止を建議した人物は誰か、記せ。
- （８） 1223年に南宋に渡って禅を学び、後に永平寺を開き曹洞宗を広めた人物は誰か、記せ。
- （９） 1868年、公議世論の尊重と開国和親など新政府の国策の基本を示し、天皇が神々に誓約する形式で公布した新政府の基本方針を何というか、記せ。
- （１０） 1997年の気候変動枠組み条約の第3回締約国会議で採択された、温室効果ガスの排出削減目標を具体的に示した議定書を何というか、記せ。

2 次の（１），（２）の問いに答えよ。ただし、それぞれ指定した字数で記せ。

- （１） 勘合貿易について、主な輸出入品も含めて内容を説明せよ。・・・90字以内
- （２） 第二次護憲運動について、その結果も含めて、内容を説明せよ。・・・115字以内

3 次のA～Eの文章を読んで、（1）～（9）の問いに答えよ。

A 中国では、3世紀初めに後漢が滅び、魏、呉、蜀の3国が並び立つ三国時代となった。史料Ⅰの中国の歴史書『三国志』の「魏書」東夷伝倭人条には、倭国の2世紀後半から3世紀半ばの様子が記されている。①倭国では2世紀の終わりごろに大きな争乱がおこり、なかなかおさまらなかつたと記されている。

史料Ⅰ

倭人は帯方の東南大海の中に在り、山島に依りて国邑を為す。旧百余国、（ a ）の時朝見する者あり。今使訳通ずる所三十国。郡より倭に至るには、海岸に循ひて水行し、…邪馬壹国に至る。…

其の国、本亦男子を以て王と為す。住まること七、八十年。倭国乱れ、相攻伐して年を歴たり。乃ち共に一女子を立てて王と為す。名を卑弥呼と曰ふ。鬼道を事とし、能く衆を惑はす。年已に長大なるも、夫婿無し。男弟有り、佐けて国を治む。

B 1159年の平治の乱後、平清盛は（ア）上皇の信任を得て昇進し、1167年、武士として初めて太政大臣になった。その子重盛をはじめ一族の者も朝廷の高位高官にのぼり、権勢をほこった。史料Ⅱは、平氏の興亡を主題とした軍記物語であり、そこには平氏政権の②経済的基盤についても記されている。

史料Ⅱ

六波羅殿の御一家の君達といひてしかば、花族も栄耀も面をむかへ肩をならぶる人なし。されば入道相国のこじうと、平大納言時忠卿ののたまひけるは、「此一門にあらざらむ人は皆人非人なるべし。」とぞのたまひける。かゝりしかば、いかなる人も相構へて其ゆかりにむすぼゝれむとぞしける。（中略）日本秋津嶋は纔かに六十六箇国、平家知行の国三十余箇国、既に半国にこえたり。其外庄園田畠いくらといふ数を知らず。綺羅充滿して、堂上花の如し。軒騎群集して、門前市をなす。」

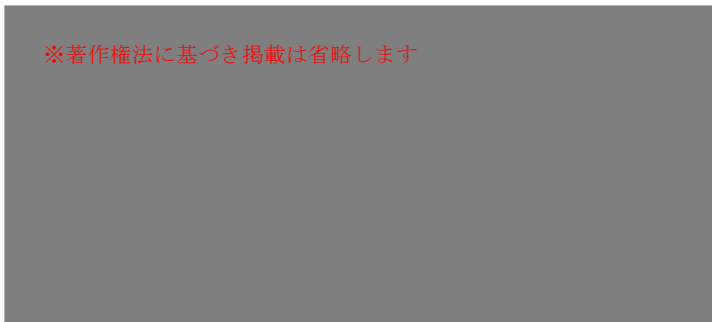
C 経済と文化の先進地であった上方を中心として、寛永文化を受け継ぎ、元禄文化が生まれた。美術・工芸では③尾形光琳らが作品を生み出した。儒学では大義名分論を重視する朱子学が重んじられ、また、山崎闇斎は、神道を儒教流に解釈した（イ）を説いた。

D 10代将軍徳川家治の時代には、側用人から昇進した老中の田沼意次が幕府の実権をにぎった。田沼意次は年貢率を引き上げて財政を再建することには限界があると考え、盛んになっていた商品生産と④その流通による経済活動の収益に財源を求めた。田沼意次の政策は、商人の力を利用しながら、幕府の財政を思い切って改善しようとするものであり、民間の⑤学問・文化などの多様な発展にも影響を与えた。

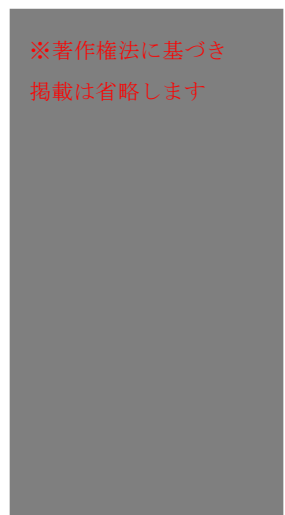
E ⑥明治14年の政変の際に、政府内で日本はドイツ欽定憲法にならうことが合意され、伊藤博文はヨーロッパ各国で憲法調査をおこない、ドイツのグナイストなどの学者から憲法理論を学んだ。帰国した伊藤を中心として本格的な憲法案の起草が開始され、1889年2月11日、⑦大日本帝国憲法が公布された。

- (1) 文中の（ア），（イ）に適する語句を，それぞれ記せ。
- (2) 史料Ⅰ中の（a）に適する語句を，記せ。
- (3) 文中の下線部①について，3世紀の倭では，どのようにして争乱をおさめて，国を治めたか，史料Ⅰから読み取り，答えよ。
- (4) 文中の下線部②について，平氏の繁栄を支えた経済的基盤は何か，史料Ⅱから読み取り，答えよ。
- (5) 文中の下線部③について，尾形光琳の作品として，正しいものを2つ選び，記号で記せ。

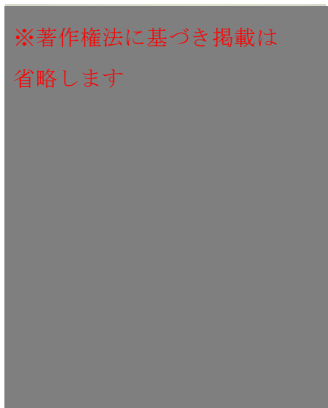
ア. 紅白梅図屏風



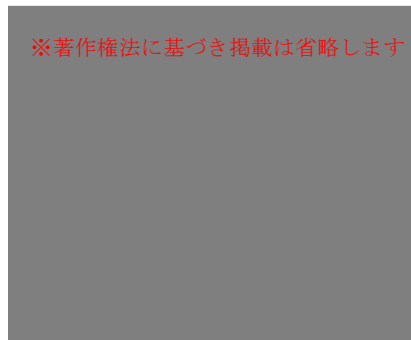
イ. 見返り美人図



ウ. 色絵月梅図茶壺



エ. 八橋蒔絵螺鈿硯箱



- (6) 文中の下線部④について，田沼意次の政策はどのようなものであったか，説明せよ。その際，次の語句を必ず一度は使い，それぞれ最初に使用した箇所には下線を付け。

仲間	運上
----	----

- (7) 文中の下線部⑤について，次の川柳は田沼意次が政治の実権をにぎっていた頃の世相を風刺したものである。この川柳が作成された背景を説明せよ。

「役人の子はにぎにぎをよく覚え」

(8) 文中の下線部⑥の時期の前後に起きた自由民権運動に関わる出来事を、古いものから年代順に並びかえ、記号で記せ。

- a. 自由党の結成
- b. 民選議院設立の建白書の提出
- c. 愛国社の結成
- d. 秩父事件

(9) 文中の下線部⑦について、次の史料Ⅲは大日本帝国憲法の一部である。次のア、イの問いに答えよ。

史料Ⅲ

第4条	天皇ハ国ノ元首ニシテ (a) 権ヲ総攬シ此ノ憲法ノ条規ニ依リ之ヲ行フ
第5条	天皇ハ帝国議會ノ協賛ヲ以テ立法権ヲ行フ
第11条	天皇ハ陸海軍ヲ (b) ス
第29条	日本臣民ハ <input type="text" value="X"/> ニ於テ言論著作印行集会及結社ノ自由ヲ有ス
第33条	帝国議會ハ (c) ノ両院ヲ以テ成立ス

ア 史料Ⅲ中の (a) ~ (c) に当てはまる語句を、それぞれ記せ。

イ 史料Ⅲ中の に当てはまる内容を、答えよ。

4 次のA、Bの文章を読んで、(1)～(5)の問いに答えよ。

A 1937年7月に盧溝橋付近で日中両軍が衝突し、宣戦の布告が行われないうまま戦火が拡大して、事実上の戦争状態となった。中国では、国民党と共産党の提携により第2次国共合作が成立し、(ア)が結成され、抵抗を続けた。①第1次近衛内閣は、1937年10月から国民の戦争協力をうながすため、国民精神総動員運動を展開し、1939年には国民徴用令によって、一般国民が軍需産業に動員されるようになった。

B 1945年に日本がポツダム宣言を受諾すると、マッカーサーを最高司令官とするアメリカ軍主体の連合軍が日本に進駐してきた。占領政策の基本方針は、軍国主義の排除と民主化に置かれ、GHQは女性の解放、教育の民主化、経済の民主化などのいわゆる②五大改革を指令した。また、衆議院議員選挙法が改正され、③1946年4月、戦後初の総選挙がおこなわれた。

(1) 文中の(ア)に適する語句を、記せ。

(2) 文中の下線部①について、これらが展開された背景について、135字以内で説明せよ。その際、次の語句を必ず一度は使い、それぞれ最初に使用した箇所には下線を付せ。

軍事費	増税	赤字公債	国家総動員法
-----	----	------	--------

(3) 文中の下線部②について、経済の民主化の一環として、1947年に制定された巨大独占企業を分割するための法律を何というか、記せ。

(4) 文中の下線部③について、次のア、イの文を読み、それぞれの正誤を○×で記せ。

ア. 女性参政権がはじめて認められ、39名の女性議員が誕生した。

イ. 日本進歩党が第一党になり、幣原喜重郎が日本自由党の協力を得て幣原内閣を組織した。

(5) 次の表1は、日本の1930年、1940年、1950年、1960年、2010年の国勢調査人口におけるそれぞれ5年前との比較による、5年間の人口増減率を表したものである。表1中のア、イ、ウに当てはまる数値をa~cから選び、それぞれ記号で記せ。

表1

(「日本国勢図会 2019/2020」により作成)

	1930年	1940年	1950年	1960年	2010年
5年間の人口増減率(%)	7.9	ア	イ	4.6	ウ

a. 0.2 b. 3.9 c. 15.3

5 次の(1)、(2)の問いに答えよ。

(1) 高等学校学習指導要領(平成21年3月)「第2章 第2節 地理歴史 第1款 目標」について、次の文中の , に当てはまる語句をそれぞれ記せ。

我が国及び世界の形成の と生活・文化の についての理解と認識を深め、国際社会に主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する日本国民として必要な自覚と資質を養う。

(2) 高等学校学習指導要領(平成21年3月)「第2章 第2節 地理歴史 第2款 各科目 第3 日本史A 2 内容 (3)現代の日本と世界 ウ 現代からの探究」の内容の取扱いについて、その解説編(平成26年1月一部改訂)では、「現代の社会やその諸課題が歴史的に形成されたものであるという観点」から、「身の回りの社会的事象と関連させた適切な主題」を設定して探究し表現させていくことが示されている。次の2つの項目について、上記の観点に基づいて生徒が探究活動に取り組む場合、どのように探究させるか記せ。ただし、それぞれの項目について、設定する主題と探究させる内容を具体的に書くこと。

(項目) ① 「食糧事情」の変化 ② 「交通」の変化